

水陵会だより

Number 25

●発行人／米子市長砂町 鳥取県立米子南高等学校
 (水陵会)会長 杉原 弘一郎
 TEL 0859-33-1641・FAX 0859-33-1642
 ●印刷所／東京印刷株式会社

10月17日(土)

「水陵会のつどい」に出席下さい



水陵会会長
杉原弘一郎

10月17日(土)に、水陵会のつどいを開催致します。平成29年の南高創立90周年の盛大な記念式典に向けて、皆様のご出席を心からお願い申し上げます。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より水陵会に対して格別のご協力・ご支援を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、近年の少子化の波により、南高も生徒数が減少しておりますが、皆様のご支援と先生・生徒の努力が実って、連日メディアに登場している嬉しい昨今です。

しかし、社会情勢等の変化により同窓会の維持、発展が難しく、経済面の運営が厳しくなっておりますが、同窓会の火を絶やす事なく未来へ繋ぐ為の改革をお願いしているところでございます。

そこで、皆様にお送りしてあります「水陵会だより」を本年は全会員の皆様にご送付致しますが、次年度以降は、水陵会だより費用等の協力金一口2,000円(何口でも可)をお振り込み頂いた同窓生の方のみの発送とすることとさせていただきます。

せて頂きました。但し、3年から5年に一度は全会員に送付致します。その為に、水陵会のホームページを開設して会報をダウンロード出来るように計画致しております。

それでは、10月17日(土)の「水陵会のつどい」でお会い出来ませう事を期待しております。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

あいさつ

学校長

澤田 裕二



水陵会会員の皆様には日頃より米子南高等学校をご支援頂きありがとうございます。地元米子でのご支援はもとより、関西地区、東海地区、関東地区の各水陵会様にもご支

援頂き心より感謝申し上げます。6月の関西水陵会、7月の東海水陵会にもお招き頂きありがとうございます。関西水陵会では昨年12月に続き33年卒岡田仁一さんのハーマモニカ演奏や「校歌」「ふるさと」の大合唱をきくと、思わず故郷があることのありがたさを実感しました。東海水陵会では若い人の参加もあつたのですが出席会員の減少により来年は一時休会するとの残念な発表がありました。11月には東京水陵会もありますので楽しみにしています。

学校内に目を移すと昨年度末の人事異動により教頭が二人同時に転出したため、引き継ぎが忙しく転入の教頭も慌ただしく一学期を過ごしました。また、同窓職員の本主司教諭が鳥取県教育センターの指導主事として転出し、校内幹事が1名減になりましたが、臨時的任用ではありませんが家庭科に今春大学を卒業したばかりの小橋麻穂さんが講師として着任しました。今年の採用試験を突破し来年度の採用を目指しています。時の流れを経て校内の職員は変わっていきませんが、豊かな自然環境に囲まれた校舎の姿は変わることなく歴史を積み重ねています。

5月末に鳥取県総合体育大会もおわり、今年はアーチェリー部、フェンシング部、ソフトテニス部が8月に近畿各県で開催されるインスターハイへの出場権を獲得しました。惜しくも全国の舞台を逃した部も次の大会を目指してがんばっています。飛び込み同好

会は部員1名ですがインターハイ、日本選手権へ出場しました。文化部では放送部、か賀県での全国高等学校総合文化祭の県代表に選出されました。また、今年の10月には近畿地区高等学校総合文化祭が鳥取県を会場に開催されますので各部とも熱がこもっています。(鳥取県は福井県、徳島県とともに近畿高等学校文化連盟に加盟しています)県内では米南にしかない小倉百人一首かるた部の大会運営は米南のみで運営するため部顧問以外にも多くの職員が協力します。機会があれば応援よろしく願います。

米子南高ならではの商業クラブ、家庭クラブの存在も忘れてはなりません。夏休み中に東京で開催される情報処理競技会、珠算電卓競技会、簿記競技会の全国大会に出場します。地域活動にも参加して

小倉百人一首かるた部

守山市民体育館
 平成27年7月29日(水)~7月31日(金)

いますのでどこかでご一緒になる機会もあると思いますので一声激励していただきたくお願いします。お土産物の商品に小さく「米南商業クラブ」「米南家庭クラブ」と記載してあるものがあります。物産展などで目にされることがあると思います。生徒皆それぞれに活動しています。米南生が将来活躍できますよう今後ともさらなるご支援よろしく願っています。

水陵会のつどいのご案内

●日時
 10月17日(土)
 16:30 受付
 17:00 会議
 17:45 講演
 18:30 懇親会

●会場
 ホテルサンルート米子

●会費
 五,〇〇〇円

同期の方からのお誘いもあるかと思いますが、準備の都合がありますので、10月13日(火)までに出席の連絡をいただきますようお願いいたします。

毎年、当日突然お見えになる方がおられ、会場担当者には大変なご迷惑をおかけし、かつ皆様方の料理も準備できかねますので、かならず事前に連絡いただきますようお願い申し上げます。

平成二十六年卒業生の進路等

平成26年度卒業生の進路状況は、進学が96名、就職が56名でした。

進学では、4年制大学が8名、短期大学が31名、専門学校等が57名でした。4年制大学は、国公立大学には尾道市立大学に1名合格しました。私立大学では、関西大学、千葉商科大学、大阪商業大学、また新設の鳥取看護大学など7名が合格しました。

短期大学は、鳥根県立短期大学部に2名、倉敷市立短期大学に1名の計3名が公立短大に合格しました。他には、鳥取短期大学、美作大学短期大学部、京都文教短期大学、就実短期大学、関西外国語大学短期大学部などに合格しました。短大については、よく進路研究を行い、質の高い進路先に進む生徒が多かったです。

本校では資格取得や専門教科を活かした推薦入試・AO入試で受験する生徒が多いです。早い時期より小論文の個別指導を受けたり、教科の講習を受けたりすることで力を伸ばして、難関大学に合格を果たした生徒がいました。

専門学校では、商業学科・家庭学科で身につけた技術をさらに伸ばしたい生徒が進学しています。商業学科だと簿記情報処理、ビジネス、ホスピタリティを学ぶ人が多いです。家庭学科からは、被服、調理、製菓、栄養を学ぶ生徒が多いです。また最近、看護、理学療法、作業療法、歯科衛生士などの医療系分野に進む生徒が増えてきて

おり、今年度卒の生徒は専門学校進学者のうち35%が医療系分野の進学でした。

就職は、県内就職41名、県外就職15名の合計56名と久々に多くの内定者が出ました。

その原因として、鳥取県内高校生の求人倍率が1.3(昨年度は1.24)と大幅にようになったことがあげられます。県内の求人数も1607人と平成13年以降では最多でした。職業分類で見ますと、事務26%、販売17%、サービス25%、製造16%でした。

具体的な就職先では、鳥取西部農協、山陰合同銀行、西日本旅客鉄道、味屋コーポレーション、八幡物産、大協組、ネオプラテック米子工場、米子自動車学校、リサ・クリエティブプロダクト、イーウェル、ダイヤモンド、門永水産などの会社で内定をいただきました。県外では、稲田屋本店、関西国際空港産業などで内定をいただきました。

今年度も7月1日より求人票の公開が始まりました。求人数は昨年度を上回る数で推移しています。しかし、今年より大学生の就職時期が後ろ倒しになり、高校生が大学生で足りなかった部分の穴埋めになることが危惧されています。

南高の生徒は、専門科目の検定、部活動などに真面目に取り組んでおり、校章のミツバチの勤勉さは健在です。また、あいさつ、礼儀のできる素直な生徒が育っています。

就職では、入社後も努力を続け、地元のために貢献していく

人材を育成してまいります。また、進学後に地元に戻ってくる生徒がとて多いのが南高の特徴です。今後とも水陵会が地元の発展を担っていただける様に、よろしく願います。

長い間採用を見合わせていた企業から「ぜひ、南高卒の生徒を育てたい」と言っていたので採用に繋がったケースがありました。先輩方の勤務先、或いは周囲の企業において人材が必要となる状況がございましたら、是非ご一報ください。同窓会の皆様には、今後とも米子南高校をよろしくお願います。

(進路指導部)

東京水陵会

57回を迎える当会の今年度は総会に来る11月8日(日)十一時から霞が関の東海大学校友会館(35階)にて開催を致します。

近年、会員の高齢化に伴う参加減と参加会員の固定化が進んでいることに鑑み、潜在会員の掘り起しも兼ねて、この二年間は横浜と千葉で開催を致しました。その効果もあり地方在住の参加も目立ちました。

今年度は都心部での開催に戻し首相官邸近くでレインボーブリッジの眺めも素晴らしい場所で開催を致します。

お知り合いの方がおられましたらお声がけ戴けたら幸いです。

さて、昨年は当初初めて前述の通り千葉にて開催を致しました。場所は東京湾、幕張

メッセ、プロ野球の千葉ロッテ球場を眼下に見下ろせる海浜幕張のTKMガーデンシティ(48階)にて11月9日(日)に開催。母校から澤田校長・青山恩師、本部から澤田校長・青川前副会長、関西水陵会から遠藤会長、東海水陵会から作野幹事、在京の米城会(米子東高)、米工会(米子工)、関東翠会(米子西高)、東京かしの会(境高)、県本部のそれぞれ関係者のご出席のもと千葉在住の会員八名含め三二人の参加で開催を致しました。

開会挨拶の後、澤田校長より母校の近況報告、自作米作りに参加されている31年卒の松本前会長による「大山千枚田の棚田*」の講演、そして23年卒の名和川さんの乾杯で開宴、吉岡前校長(東京在住で特別会員になって戴いています)のご参加もあり青山恩師のストレッチ体操も好評で和やかな雰囲気の下、恒例となつている故郷米と大山千枚田米争奪ジャンケン大会の後、34年卒の船田さんの校歌・応援歌を皆で合唱、来年の再会を誓い解散致しました。

因みに米の争奪戦での勝利者は、今年度は34年卒岩田さん、39年卒佐口さんと来賓の方でした。

(*千葉県鴨川市にある中山間地)
(東京水陵会会長 塚田 誠)

東海水陵会

東海水陵会の集いを、例年のように、平成27年7月5日(日)の11時30分から名古屋国

際ホテルで開催し、当面の活動休止を決めた。

東海水陵会は、第60回水陵会のついででの話題が発端となり設立準備が進められた。当時の校内幹事、東京・関西両水陵会の協力のもとに、平成5年7月4日設立総会を開催した。今年度の「ついで」が第23回目となる。他校同窓会にも呼びかけ、同窓会を魅力的で有意義な「ついで」にするために、各同窓会のユニークな活動を紹介し合う、という趣旨で、企画したが、諸般の事情で参加者は、全員で14名にとどまった。

当日は、司会者の作野誠東海水陵会常任幹事が開会の挨拶をし、6月24日に逝去された大田登志夫幹事に黙祷を捧げた。

続いて、水陵会を代表して杉原弘一郎会長の挨拶と鳥取県状況についての報告があった。その後、澤田裕二校長から、母校の近況報告を兼ねて祝辞をいただき、門脇誠司ふるさと鳥取県産業・観光センター所長から、来賓を代表し祝辞をいただいた。

臨席いただいた来賓の紹介後、議事に入り、平成26年度事業報告並びに収支報告を審議し、平成27年度以降の会の運営等については、懇親会の中で検討することにした。

石原吉三郎東海水陵会名誉会長の音頭で乾杯し、懇談に移った。まず、前田勝照東海鳥取県人会幹事長から県人会の活動の報告をいただき、藤本克彦東海米工会会長・松井威憲東海米城会副会長・遠藤稔関西水陵会会長からそれぞれの

同窓会の活動状況の報告をいただいた。

この報告を基に、東海水陵会の運営等について検討し、平成27年度以降の活動について決定した。

懇親会では、井上孝文校内幹事長、参加者の埜野内賢(平成元年卒)・熊谷いくみさん(平成22年卒)からもコメントをもらい、みんなで歓迎した。今回も、高塚翼監査にはカラオケで会を盛り上げていただき、来賓の方にも楽しんでいただいていた。臨席いただいた来賓の方に、水陵会会員で、北原白秋作詩・山田耕筰作曲の南高校歌を披露し早期の活動再開を誓った。岩本至東海米工会幹事に中締め挨拶をいただき、閉会にした。

平成27年度事業等今後の東海水陵会の運営等については、以下のようにすることとした。

平成27年度・平成28年度(第12期)役員は、大田登志夫氏を除き、第11期役員をそのままとし、すべての業務を常任幹事が代行する。平成27年度は、可能な範囲で活動を継続する。平成28年度は、東海水陵会としての「ついで」等の独自の行事は、休止し、水陵会本部からの活動助成金は辞退する。総会は、会則第10条の規定により、これまでの数回の例に倣い文書で全会員に通知し、総会の開催に代える。

平成29年度の「第25回東海水陵会の集い」は、第90回水陵会のついでと同日に、米子で開催することを企画し、東海水陵会の活動の再開を模索する。(東海水陵会事務局 作野 誠)

水陵会だより 来年度以降の発行についておよび 協力金のお願い

水陵会だよりも、おかげさまで持ちまして、今回で第25号を発行することができました。しかしながら、一般会計の収支決算書にも記載していますとおり、発送費・印刷費等で150万円以上の経費がかかっています。今後も、母校の様子、在校生の活躍も含め、同窓会の様子を継続して報告させていただき、絆を大切にしていきたいものと考えてはいますが、昨年の総会において、以下のように取り扱うように決定しました。

次回からは、作成した上で、学校のHPから入れる同窓会のHPにアップするよういたします。(現在は、同窓会のHPは開設されていません)

そして、総会（つどい）の参加の方々、

東京・関西・東海の各支部総会の参加の方々に配布と、前年度に協力金を振り込んでいただいた同窓生の方のみの発送となります。

ただし、3年から5年に一度は全会員の皆様に発送させていただきます。

諸事情をご理解いただきまして、同封の振込用紙で1口2,000円、何口でも結構です。ご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、協力金については、あくまでも任意ですので、その点、重ねてお含み置きをお願いいたします。

関西水陵会

去る6月13日(土)、大阪第一ホテルで第57回関西水陵会の集いを開催いたしました。当日はご来賓を含め、総勢36名が出席しました。会長の開会あいさつの後、澤田校長、杉原水陵会会長、米田鳥取県関西本部長から母校や県の近況紹介があり、皆さん熱心に耳を傾けていました。今年の出席者は例年よりやや少なめながら初参加の方も多く、会場のあちらこちらで話が弾みました。

懇親会の中で、常藤和子さん(昭和37年卒)から、家事や片付けに関する著書3冊が母校に贈呈されました。

また、元体育教師青山典代先生による「演歌に合わせてストレッチ」のコーナーでは、皆さんが心地よい汗を流し、岡田仁一さん(昭和33年卒)のハーモニカ演奏では、その美しい音色に合わせて会場に歌声があふれ和やかな盛り上がりでした。

高齢化が進み参加者が減少傾向にある中、開催時期、場所等を工夫し少しでも魅力ある集いにしたいと考えています。皆さんのお知恵をお貸しください。来年は6月18日(土)を予定しています。関西以外からも多数のご参加をお待ちしています。

(関西水陵会会長 遠藤 稔)

母 校 生 徒 の 活 躍

(順不同)

鳥取県高校総体結果

Table with 4 columns: 部 (Department), 種目 (Event), 成績 (Results), 他 (Others). Rows include バレーボール, 弓道, バスケットボール, ボート, ハンドボール, ソフトテニス, ソフトボール, 飛込, フェンシング, バドミントン.

中国大会結果

Table with 4 columns: 部 (Department), 成績 (Results), 他 (Others). Rows include バスケットボール, フェンシング, ボート, 陸上, 飛込.

文化部活動報告

Table with 4 columns: 部 (Department), 成績 (Results), 他 (Others). Rows include かるた, 放送, 吹奏楽, 情報処理.

その他の大会

Table with 4 columns: 部 (Department), 成績 (Results), 他 (Others). Rows include 調理.

同期生会を開催されるときは

事務局 (0859-33-1641) にご一報いただければ、清酒2本贈呈いたします。

また、必要であれば、宛名シールを提供いたします。尚、準備の都合上、一週間ほど余裕をいただければと存じます。さらに、大変申し訳ございませんが、1学年基本料金4,500円他のご負担をお願いしておりますので、よろしく願い申し上げます。各期のご盛会をお祈りいたします。

平成26年度特別会計収支決算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

鳥取県立米子南高等学校 水陵会

【収入の部】

項目	決算	備考
前年度繰越	3,290,772	
名簿販売	4,500	直接販売1冊
寄付金	150,000	
雑収入	482	預金利息
合計	3,445,754	

【支出の部】

項目	決算	備考
会議会合費	20,153	
総会会合費繰出	364,606	一般会計へ
通信費	0	
特別繰出	1,000,000	一般会計へ
次年度繰越	2,060,995	
合計	3,445,754	

平成26年度一般会計収支決算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

鳥取県立米子南高等学校 水陵会

【収入の部】

項目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越金	247,964	247,964	0	
入金金	1,404,300	1,413,600	9,300	¥9,300×152名
会費	500,000	542,000	42,000	総会会費
協力金収入	800,000	894,267	94,267	
雑収入	36	115	79	預金利息
総会会合費繰入	400,000	364,606	▲ 35,394	特別会計より
特別繰入	0	1,000,000	1,000,000	
合計	3,352,300	4,462,552	1,110,252	

【支出の部】

項目	予算	決算	増減	備考
総会会合費	1,000,000	1,137,206	137,206	総会会場料、日本海新聞掲載料
支部総会会合費	150,000	153,300	3,300	支部総会
通信費	1,400,000	1,419,866	19,866	水陵会だより発送費等
印刷事務費	150,000	182,098	32,098	水陵会だより印刷費
交通旅費	200,000	284,040	84,040	支部総会旅費
協力金振込手数料	10,000	34,180	24,180	
慶弔費	80,000	52,754	▲ 27,246	卒業記念品、弔電代等
消耗品費	7,000	108	▲ 6,892	名札・祝儀袋ほか
雑費	10,000	26,750	16,750	振込手数料、全国選抜広告料等
支部助成金	300,000	300,000	0	東京・東海・関西水陵会
予備費	45,300	0	▲ 45,300	
次年度繰越		872,250	872,250	
合計	3,352,300	4,462,552	1,110,252	

事務局からのお知らせ

近年、同級生や学校事務室、教員や同窓会の名前を騙って、会員の皆様の住所や電話番号などの連絡先や勤務先などを尋ねる電話がある、あるいは「同窓会の紹介を受けた」といって投資や資格講座などのセールスの電話があった、などの問い合わせをいただいています。

また、同窓会事務局の方にも、卒業生と偽って「同窓会名簿を購入したい」という問い合わせをしてくる悪質業者からの電話もあります。

同窓会では、今回も郵便物による調査を行い、数回郵送しても連絡がつかない場合のみに、電話で確認させていただくことがあります。基本的に電話で個人情報に関するお問い合わせはしていません。また、郵便物の返信先も必ず、**米子市長砂町216 米子南高等学校**となっています。さらに学校事務室や進路指導部が、住所などの調査をすることもございません。

同窓会名簿につきましても、慎重に身元確認をとらせていただき卒業生と確認できなければ販売しないように注意いたしております。

このような悪質業者により、会員の皆様にはご迷惑、不愉快な思いをおかけしていることと思っております。すぐに回答してしまうことの無いように、また不審な電話があった場合は、相手方を再度ご確認いただきますようお願いいたします。

水陵会名簿作成についてのご案内

5年に1度発行している水陵会名簿ですが、平成28年が発行年です。

名簿作成作業については、個人情報の慎重な取扱いを重視し、同窓会で協議を重ねた結果、前回同様プライバシーマーク取得のデータ整備専門会社(株)サラトに委託しております。

会員の皆様には、12月上旬に住所確認の調査ハガキが発送されます。内容をご確認の上、ご返信ください。

また、この調査に先駆けた予備調査として、このたび、同級生の方々の住所不明者について、その一覧と連絡用ハガキを同封させていただいています。

整備されたデータは、母校、水陵会の財産です。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

水陵会会長 杉原 弘一郎

平成27年度本部役員

名誉会長	井上 万吉男(昭16商蚕)	前会長
会長	杉原 弘一郎(昭36南商)	
顧問	松本 徹(昭15商商)	
	澤田 裕二	学校長
	吉岡 成幸	前学校長
	友松 文嗣	元学校長
	谷野 史郎	元学校長
副会長	小谷 茂(昭38南農)	
	尾澤 三夫(昭38南商)	
	松本 正福(昭43境商)	
	竹上 順子(昭49南商)	
	門脇 一男(昭50南商)	
	松本 二三子(昭60南処)	
監事	米川 收(昭41南商)	
	遠藤 聖(昭44南化)	
	矢倉 貴志(平3南処)	

東京水陵会

会長	塚田 誠(昭40南商)
事務局	菅田 年男(昭57南処)

関西水陵会

会長	遠藤 稔(昭35南商)
事務局	内藤 幸子(昭33南商)

東海水陵会

会長	田中 康彦(昭31南商)
事務局	作野 誠(昭42南商)